

はじめに

日野市では、一人一人の子どもを大切に、保育所・幼稚園から小学校、中学校までの一貫した教育の充実を目指し、取組みを進めてきました。

就学前教育については、「ひのっ子就学前コアカリキュラム」「小学校入門期ひのっ子タイム」の二つのカリキュラムを活用し、幼児期の教育活動から、小学校教育への滑らかな接続を図っています。また、幼・保・小・中の連携を教育課程にも位置付け、幼児・児童・生徒の交流や教員間の交流授業を計画的に行っています。

幼稚園教育要領や小学校学習指導要領の改訂、さらに保育所保育指針の改定を受け、幼稚園・保育所・小学校の三者の連携は一層必要になっています。誕生した子どもたちの多くは、やがて保育所・幼稚園に通い始め、様々な経験を積み重ねながら就学を迎えます。子どもたちの健やかな成長をはぐくむためには、互いの教育方法や子どもたちに身に付けさせたい力を理解し合い、積み重ねた経験を土台にしながら、適切な働きかけを行っていくことが大切です。

今年度、幼・保・小連携教育推進委員会では、0歳から小学校入門期までの新たなカリキュラムを作成し、その成果が本冊子に結集しました。保育者、教員が子どもの発達の見通しをもち、これまでの経験の上にどのような力を養っていけばよいか、発達や学びの連続性を踏まえて子どもにかかわることができるようになります。このことは、子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくむことにもつながります。

本冊子が、保育者や学校関係者、多くの人に活用され、日野市の保育、授業の充実とともに、子どもたちの幸せに寄与することを願っています。

平成 22 年 3 月

日野市教育委員会教育長

加島 俊雄

